

抗菌薬スペクトラム表

抗菌薬		グラム陽性球菌(GPC)				グラム陰性桿菌(GNR)						その他		備考(微生物・移行性など)	
分類	略称(採用薬商品名)	MRSA MRCNS	腸球菌	MSSA	連鎖球菌 肺炎球菌	PEK	HaM	ESC	緑膿菌	ESBL 産生菌	AmpC 産生菌	嫌気性 菌	細胞内 寄生菌		
β ラク タム	ペニシリン	ABPC(ビクシリン) AMPC(アモキシシリン)		↔		↔	K×	M×						リステリアに有効	
		ABPC/SBT(ユナスピン) AMPC/CVA(オーグメンチン)		↔		↔							↔		
		PIPC/TAZ(タゾピペ)		↔		↔							↔		髄液移行×
	セフェム (数字は世代)	①CEZ(セファゾリン) ①CEX(セファレキシン)			↔	↔									髄液移行×
		②CMZ(セフメタゾール)			↔	↔					↔		↔		髄液移行×
		③CTRX(セフトリアキソン) ③CTX(セフトオタックス)			↔	↔									BLNARに有効
		③CAZ(セフトアジジム)				↔									
		④CFPM(セフェピム)			↔	↔						↔			
	カルババネム	MEPM(メロペネム)			↔	↔							↔		
	β ラク タム 以 外	アミノグリコシド	GM(ゲンタマイシン) AMK(アミカシン)	← 心内膜炎への併用療法として使用 →			↔								
マクロライド		AZM(ジスロマック)					↔						↔	腸炎(カンピロバクター、サルモネラ等)に有効	
リンコマイシン		CLDM(クリンダマイシン)	の病 内状 服安 治定 療後	↔								↔		Toxic Shock Syndrome の毒素抑制効果	
テトラサイクリン		MINO(ミノマイシン) DOXY(ビブラマイシン)			← 軽症かつ感受性あれば →								↔		
ST合剤		ST(バクトラミン、ダイフェン)			↔					↔	↔			ニューモシスチスに有効	
ニューキノロン		LVFX(レボフロキサシン)			↔	↔						↔	↔		
ニトロイミダゾール		MNZ(アネメトロ、フラジール)										↔		CD腸炎に有効	
グリコペプチド		VCM(バンコマイシン)			↔									ペニシリン耐性腸球菌 (E.faecium)に有効	

市中感染を起こす腸内細菌科細菌: PEK=P(プロテウス)、E(大腸菌:E.coli)、K(クレブシエラ)
 気道感染を起こすグラム陰性菌: HaM=Ha(インフルエンザ桿菌)、M(モラクセラ:※グラム陰性球菌)
 院内感染を起こす腸内細菌科細菌: ESC=E(エンテロバクター)、S(セラチア)、C(シトロバクター)
 嫌気性菌=バクテロイデス(横隔膜より下)、プレボテラ(横隔膜より上)が代表格
 細胞内寄生菌=マイコプラズマ、クラミジア、レジオネラ、リケッチア

菌の分類・略称の補足

岡山市立市民病院
院内抗菌薬マニュアル
2020/7/14修正
2022/6/22修正
2023/12/19修正